



願いご呼び覚まされて

新年おめでとうございます。

世間では、今年も平穩無事な、私にとって都合のよい年でありますよ
うにと、新年の言葉を交わすが、真宗門徒にとっては、何が起つても
お念仏に出遇う縁としたというご挨拶ではないか。

十月二十日、お袋が脳梗塞で倒れた。そのお袋を見ながら、幼少の頃
の私とお袋とのやり取りを思い出していた。
幼少の私は、学校の規則を破り、母は事あるごとに学校に呼び出され
ていた。うつむき加減に歩き、どの先生にも深々と頭を下げているお袋
を見ているのが辛かった。

そのたびに、お袋は「頼むからまともになつて」「頼むから勉強をし
て」と、泣きながら私を拜んでいた。その光景の中で私は、ただ事にな
いお袋の私への愛情と、自分の愚かさを感じずにはおられなかった。

「如来に敬せられ、如来に愛され、如来に信ぜられ、如来に念ぜられ、
かくしてわれは、よく如来を信ずることを得る」とは曾我量深師のお言
葉である。如来のはたらきとは、私を上から哀れんでいるのではなく、
同座に寄り添って、「本当の人間になつて下さい」「人間として生まれ
てきたこと、そのことをどうか無駄にしないで下さい」と、この私を拜
み続けているはたらきなのであろう。

拜まれている自分に気づかされて初めて、自分の愚かさやどうしよう
もなさに出遇うのである。出遇った自分の事実にはただ頭を下げるしか
ない。気付かせたのも、自分の事実に出遇わせたのも、下げるはずのない
私に頭を下げさせているのも、如来のはたらきである。そのことを「念
仏もうさんと思ひ立つころのおこるとき」と『歎異抄』にはある。
お袋の姿を見ながらこんなことを感じさせられたことである。

第26号
平成28年
(2016年)
1月・2月
・3月号
発行：編集
岡崎別院
輪番 福田 大

岡崎別院『親鸞ウィーク』開催 主催 岡崎別院門徒横町実行委員会

(宗史蹟公開講座・落語・婚活・子ども会・親鸞ウォーク・オカザキプレイ等)

下記の日程にて一週間、親鸞聖人に触れていただく行事を開催いたします

【親鸞ウィーク日程予定表】

◆花まつり・子ども会

4月2日(土) (於境内) 10時～

※餅つきを行います。来院時にお餅をいただける方は、事前にご連絡ください。

◆宗史蹟公開講座〈横川の宗祖を訪ねて〉

4月3日(日) (於本堂) 14時～17時

講師 武覚超大僧正(比叡山延暦寺前代表役員・滋賀県大津市求法寺住職)

講題 「親鸞聖人が修学した比叡山の念仏」

◆別院寄席(落語) 〈笑福亭仁智師匠、他〉(予定)

4月4日(月) (於本堂) 19時～

◆親鸞ウォーク〈宗祖の史蹟を訪ね歩く〉

4月8日(金) 詳細は京都教務所によるパンフレットをご参照ください。

◆婚活

4月9日(土) 詳細は検討中

◆オカザキプレイ《ワールドミュージック》

4月9日(土) ワールドミュージックステージ・ワールドフード・ワークショップ

修正会

○一月 一日(金)七時～

輪番

ご門徒新年会

○一月 三日(日)九時半～

輪番

宗祖を訪ねて

○二月 三日(水)十四時～

輪番

○三月 三日(木)十四時～

輪番

味読正信偈

○一月十三日(水)十時～

輪番

※引き続き三日講新年会

○二月十三日(土)九時半～

輪番

○三月十三日(日)九時半～

輪番

雑炊の集い 十一時～

定例法話

○一月二十三日(土)九時半～

真宗大谷派組織部 島添顕信 師

蓮華の集い(第十二回)

○二月二十三日(火)十時～

真宗大谷学園専務理事

前大谷中高等学校長 真城義磨 師

春季彼岸会・永代経

○三月二十三日(水)九時半～

樹洩陽舎舎幹 栖雲深泥 師

結婚式

十月十一日挙式
三上 綾さん
竹村 圭史さん

十月三十一日挙式
小倉 亜美さん
佐々木 裕弥さん

十一月二十八日挙式
寺西 由貴乃さん
坪井 泰樹さん

結婚式予約状況

二〇一五年

☆十二月二十日

磯野・古木家

二〇一六年

☆一月三十日

北脇・大河内家

☆三月二十日

貴山・米津家

☆四月二十三日

リュウシュ・松居家

☆十月九日

西村・荒木家

※詳細はホームページをご覧ください

〈列座のつぶやき〉

先日ひとりの御門徒さんが別院に来られた時、
「現代において、お寺の建物はあんなに大きい
必要があるのか、わざわざ大金をかけてあの形
を維持する必要があるのか」というような内容
のことを質問された。改めてお寺がどういった
願いのもとに建てられているかを問われた。

七宝講堂道場樹 方便化身の浄土なり
十方来生きはもなし 講堂道場礼すべし
(浄土和讃)

落慶の法要に用いられる和讃であるが、道場
樹とは仏が悟りを開かれる際の菩提樹を指し、
また釈尊説法の地の目印となった樹を指すとい
う。お寺の屋根の高さは道場樹の高さを模した
という。どこからでも「仏法聴聞の場」として
のお寺を見つけられるように。また、真宗寺院
の本堂は参詣者がひとりでも多く入れるように、
内陣よりも参詣の間が広くつくられている。

寺院は風景であると言われる今日、礼すべし
と宗祖が仰った念仏道場にかけている願い
を確かめなければならぬと感じた。(安孫子)

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派(東本願寺)

岡崎別院

〒606-8335

京都市左京区岡崎天王町

26番地

電話・FAX 075-771-2921

http://okazakibetsuin.com

info@okazakibetsuin.com



学院生によるおみぎ

専修学院生おみぎ

十月二十一日、大谷専修学院生による岡崎別院報恩講に向けたおみぎが行われた。六十名の学生・先生達によって仏具がみがかれた。



茶室側の剪定



庭園の清掃風景

報恩講事前清掃奉仕

十月十四日、岡崎別院報恩講に向けて、近隣寺院・岡崎別院門徒・三日講員の有志、障害者就業・生活支援センターの皆様によって、事前の清掃奉仕が行われた。境内・庭園の掃き掃除や落ち葉拾い、草取りなどをした。およそ三十五名が参加した。



真城義麿師



勤行の様子



山門前

二〇一五年度岡崎別院報恩講

十月二十三日、信悟院殿御参修、真城義麿師御教導、関係各位の多大なる御協力によって、当院の報恩講が厳修された。法話の講題は「帰命無量寿如来」。本堂は満堂であった。また、茶室「翠雲亭」や庭園では抹茶接待が行われた。総勢およそ二百三十名が参勤・参詣に訪れた。



満堂の参詣者



嶋村氏

和谷氏



紅葉のライトアップ



本堂前で集合写真

大谷高校清掃奉仕

十一月二十六日、大谷高等学校生によって別院庭園の清掃奉仕が行われた。三十五名の生徒が庭園の掃き掃除などを行った。別院から記念品として腕輪念珠が贈呈された。

庭園ライトアップ演奏会

十一月二十九日、夕方から庭園はライトアップされた。書院で茶道教室のお茶接待、本堂では和谷篤樹氏のハーモニカと嶋村よし江氏によるピアノ演奏、お箏教室の演奏があった。



岡崎別院お箏教室



主催者代表による挨拶



笑福亭仁智氏



弦楽四重奏

別院往来 落語と弦楽四重奏の夕べ

十月六日、岡崎別院本堂にて、山城第二組が主催する「落語と弦楽四重奏の夕べ」が開催された。「音楽工房 京の音屋」所属の方達により、弦楽器の演奏がされた。引き続き、笑福亭仁智氏の落語の席が設けられた。感動と笑いの絶えない時間であった。百五十名余りの人が訪れ、本堂には入りきれず、縁側の戸も外され、立ち見の方もおられた。



茶室「翠雲亭」

淡文会青年部お茶会

十月十二日、茶道裏千家淡文会青年部主催で、当院にてお茶会が開催された。書院や御殿、そして翠雲亭にて、お茶や点心が振る舞われた。



講師 水島見一師

当院を会所として報恩講が勤まるのは最後の年ということもあつてか、多くの方が聴聞に来られた。



講師 平川宗信師

十月十日・十一日と、滋賀県大津市樹洩陽舎の報恩講が厳修された。主催は樹洩陽舎舎幹で当院にもたびたび御講師に来ていただいたいる栖雲深泥師。

樹洩陽舎報恩講



板橋宏憲師

九月二十三日、秋季彼岸会が開催された。講師は本願寺派奈良県教学寺住職の板橋宏憲師で、講題は「六字の親様」。参詣者は二十名。

秋季彼岸会



お手前を披露

九月五日、岡崎別院茶道教室指導による第四回子ども茶道教室が開催された。一年の集大成として、父兄の方達にお手前を披露した。



装束着付の実演

第四回子ども茶道教室

杉浦後援会秋のつどい

十一月一日、杉浦後援会によるお能のワークショップが開催された。お能に使用される衣装の披露などがあつた。